

イルカの空中散歩

第94号

天草エアライン

客室乗務員発行

2008/10/01

今月の担当☆大塚

C/A大塚が行く！あなたのまち ～天草編～



このコーナーはC/Aが各就航地へ行き、あなたのまちの観光地等をご紹介します。毎月シリーズでお届けします。お楽しみに★★★
また、「私のまちのOOを紹介してほしい！」といったお客様のお声もお待ちしております。

皆様こんにちは。今日も空飛ぶイルカ号へご搭乗ありがとうございます。朝夕すっかり涼しくなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

秋といえば、食欲、スポーツ、読書など楽しみ方がたくさんありますが、今回は…天草で楽しむ「文化の秋」をご紹介します!!

それは、天草の陶磁器窯元巡りです!ご存知の方も多いとは思いますが、天草の陶器づくりは歴史が古く、江戸時代にはすでに製造が始まっていたそうなのです。

また、原料である天草陶石の質が良いため、有田焼の原料や外国への輸出用として活用されていたのです。

そんな歴史ある天草の陶磁器。産地天草に住んでいるからには、「せっかくだから、生活に取り入れて使わなくっちゃ。」と思いついたのが7年前でした。それから毎年、春と秋に行われる「天草西海岸陶芸まつり」に足を運んで、コツコツとコレクション(?)を増やしています。

この陶芸まつりの期間中は、どの窯元も通常より割引価格で販売されていますし、窯出しされたばかりの新作も多いのです。また、窯元によっては、乙女心をくすぐる福袋があったり、その窯元のお湯のみ、コーヒーカップなどでお茶を振舞ってくれたり、(時にはおはぎやおにぎりまでも…☆)絵付け体験ができるところもあります。



この秋の「天草西海岸陶芸まつり」は、10月10日(金)～14日(火)まで、苓北町・天草町の11ヶ所の窯元で行われます。

天草にお住まいの方にも、これから天草を観光する方にも個人的に、自信を持ってお勧めするイベントです。

ただし、それぞれの窯元は決して近くに集中してあるわけではないので、公共の交通機関や徒歩で行くことはできません。マイカーもしくはレンタカーを使って、会場案内の地図とにらめっこしながら、「この細い道かな?」「いやこの坂は無理やろ?」「あー!前から車きたどうしよう!」と、あだこつ言いながら、やっとたどり着くことを覚悟してください。

そうして苦労して巡った窯元で、お気に入りのものを見つけると、とーっても幸せな気分になることができるのです。

また、行き帰りに、天草西海岸の美しい海を眺めたり、レストランに立ち寄り、今が旬の伊勢海老を食べたり、下田温泉でひとっぶろすることもできます。

この秋、皆様も是非お出かけになってみてはいかがでしょうか。天草の陶磁器と、秋の風景のとりこになっちゃいますよ☆

私も、今年は白磁のお茶わんを目指して行きたいと思っています。

※「天草西海岸陶芸まつり」の詳細のことにつきましては、パンフレットを機内にご用意しておりますので客室乗務員にお申し付けください。

お気に入りのかわいいイルカの箸置き!
なんと1個300円!!



毎日愛用しているフリーカップ。天草陶石ならではの透き通るような白さと、淡い色使いがたまりません!



天草陶石とは…?

天草で産出する世界的な陶磁器原料の天草陶石。砕きやすく形成可能な上、単独で焼物になる。高い強度で製品は硬く、仕上がりの色は濁りがなくて美しい。こうした高品位の陶石の発見は、17世紀中頃から18世紀初頭のころらしい。1762年には、高浜焼として初めて焼かれ、71年には時の平賀源内に輸出振興に役立つ「天下無双品」と言わしめた。有田焼や高圧ガイシには不可欠で、今や、宇宙船の耐熱材。全国の陶石の八割は天草陶石である。